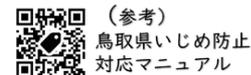


# ネット上のいじめ対応～情報モラル教育の充実とルールの徹底について～

近年、ネット上のいじめ、トラブルが増加しています。不特定多数の人がその情報を見聞きすることができるため、被害が拡大し、学校、保護者だけでは解決が困難な事例が多いのが現状です。



## 子どもを『ネット上のいじめ』から守るための4つの提案

- (1) 理解促進・実態把握
- (2) 情報モラル教育の充実とルールの徹底
- (3) 未然防止・早期発見・早期対応
- (4) いじめられた子ども等へのケア

(参考) 文部科学省 子どもを守り育てる体制づくりのための有識者会議まとめ【第2次】

ネット上のいじめ対応について、本号では(2) **情報モラル教育の充実とルールの徹底**について、次号で(3) 未然防止・早期発見・早期対応についての情報をお伝えします。



「情報モラル」についてしっかりと教え、子どもたちにネットのリスク回避能力を身につけさせるとともに、主体的にルールを守ることができるようにしましょう！

**インターネットの特殊性について正しい理解を促す。**

児童・生徒  
に向けて

保護者  
に向けて

**家庭で行うリスク回避の重要性について伝える。**

### 【インターネットの特殊性】

- 発信した情報は、多くの人にすぐに広まること。
- 匿名で書き込みをしたとしても、人は特定できること。
- 違法情報や有害情報が含まれていること。
- 書き込みが原因で、思わぬトラブルを招き、別の犯罪につながる可能性があり、時には、自死を招く場合もあること。
- 一度流出した情報やデータは、簡単には削除できないこと。等



### 【家庭でできるリスク回避】

- インターネットへのアクセスは「トラブルの入り口に立っている」という認識や、知らぬ間に利用者の個人情報流出するといったトラブルが起こりうるという認識を持つこと。
- 子どものスマートフォン等を第一義的に管理するのは家庭であり、ルール作り等を行うこと。
- 子どもの表情等、小さな変化に気づけば、躊躇無く問いかけ、即座に学校へ相談すること。等

安易な書き込みで、簡単に被害者にも加害者にもなってしまふんだな。

ネット上でのトラブルは、大人が知らない子どもたちだけの見えにくい世界で起こるため、**児童生徒が自分自身で判断し行動できる力を全ての教育活動を通して、家庭と連携しながら育てていくことが重要**です。

我が子をネットいじめから守るためには、ルールが必要だな。

